

## 平成 26 年度 シラバス

教科名(音楽) 科目名(音楽理論(2)) 副読本(改訂版 音楽通論【教育芸術社】、他) 単位数(2)

対象学年(2年生芸術教養コース音楽選択)

学習目標: 音楽に関する基礎的な知識及び法則を習得させる。

学期	月	時数	累計	指導内容	備考
1 学期	4	6	6	昨年度の復習 音楽記号、音高、反復記号、拍子、調判断	
	5 6	8	14	コードネームについて(1) 長三和音、短三和音、増三和音、減三和音 リズム聴音、	・ 鍵盤楽器を利用し実際に弾かせる。 ・ リズムを実際にたたかせる
		6	20	コードネームについて(2)・・・セブンスとナインス、オーグメント、サスフォー 単旋律聴音聴音	
2 学期	7	4	24	楽式について(1) コールユーブンゲン/聴音	・ キーボードで実際に弾かせる。
	9	8	32	楽式について(2) コールユーブンゲン/聴音	・ キーボードで実際に弾かせる。
	10	6	38	和声について コールユーブンゲン/聴音	
	11	8	46	声楽曲と器楽曲について コールユーブンゲン/聴音	
3 学期	12	6	52	世界の作曲家について コールユーブンゲン/聴音	
	1 2	4	56	総合問題(1) コールユーブンゲン/聴音	
		8	64	総合問題(2) コールユーブンゲン/聴音	
	3	6	70	総合問題(3)/まとめ	

\* 学期は評価対象の月のまとまりとして表記してある

### 評価の観点・方法

授業態度、提出物、準備物、実技、ペーパーテスト(年1回程度)を総合的に評価します。

#### < 主な観点 >

- ◇ 授業態度———学習課題(教材)にまじめに取り組んでいるか 遅刻せずに出席しているか
  - ◇ 提出物———毎回きちんと出しているか
  - ◇ 準備物———教科書やファイルなどを忘れずにもってきているか
  - ◇ 実技———元気な声で歌えているか、音程やリズムがとれているか、正しい指づかい、曲の表情を表現できているか等
- 学習の最初と終わりで向上がみられるか(努力のあとがみられるか)

### 学習のポイント

授業に取り組む姿勢も評価に大きく影響します。真摯な態度で授業に臨むことを期待します。音楽大学等への進学を考えている生徒は、専門的な個人学習を受けることが必須です。課外講座の受講のほか、大学の先生や生徒を音楽大学等に進学させた実績のある声楽家・演奏家の先生などに個人学習を受けて技術の向上を目指してください。